

	団体コード:103667 15. 上野村	〒370-1614 多野郡上野村大字川和11番地					
		TEL 0274-59-2111 FAX 0274-59-2470	役場まで:藤岡ICから車で80分 下仁田ICから車で35分				
村長 <small>くろさわ はちろう</small> 黒澤 八郎 期数 2 任期 R7.6.13 副村長	村制施行日 明治22年4月1日 面積 181.85 km ²	H P http://www.uenomura.jp/ E-mail kikakuka@vill.ueno.gunma.jp					
議長 松元 平吉 (議員任期R9.4.29)	花:やしおつつじ 木:しおじ 鳥:たか						
キャッチフレーズ : 豊かな自然に囲まれた創造の森							
【市町村のあらまし】 明治22年の町村制施行により誕生し、現在にいたる。群馬県の最西南端に位置し、西は長野県、南は埼玉県に接している。その境界は秩父、荒船、御荷鉾連山等のいずれも急峻な1,000~2,000m級の山々が連なり、その支脈が複雑に入り組んで村全域が険しい山岳地帯となっており、平地は極めて少ない。山々は原生林を始めとする深い森林に覆われ、森林面積は村の総面積181.85km ² の95%を占めているが、広葉樹が多く四季のうつろいは鮮やかで大変美しい。		【名勝・旧跡】 ・シオジの原生林(国指定天然記念物) ・中正寺のしだれ桜(県指定天然記念物) ・不二洞(関東一の鍾乳洞)(県指定天然記念物) ・野栗の福寿草自生地(村指定天然記念物) ・中止の滝 ・竜神の滝 ・蛇木の滝					
【産業・経済】 農業においては、安定的な経営を目指しイノブタの生産や菊、プラム、リンゴなどの生産物の導入が図られてきた。近年は農作物に付加価値をつけるため、野菜ジュースといった新たな特産品の開発を進めている。 林業においては、豊かな森林資源を活用した木工品製造が地場産業として定着し、木工の工芸作家の定住化が進んでいる。また、森林整備に携わる若者も増えている。村内の9割以上を占める森林を有効に活用する林業の振興、新エネルギーの活用対策、木質バイオマスの有効利用による村内循環型社会の構築を推進している。		【文化財】 ・旧黒澤家住宅(国指定重文) ・墨書大般若経(県指定重文)					
【観光施設・公共施設等】 ・上野村ふれあい館 ・やまびこ荘 ・道の駅 上野 ・ヴィラせせらぎ ・銘木工芸館 ・天空回廊エリア ・浜平温泉「しおじの湯」(上野スカイブリッジ、不二洞) ・森の体験館 ・村営そば店「福寿庵」 ・中之沢源流域自然散策路(入場規制あり) ・森林文化館(旧・森林科学館)		【伝統行事・伝統芸能】 ・初絵売り(元旦) ・とおかんや(11月中旬) ・どんどん焼き(1月中旬) ・乙父おひながゆ(4月3日) ・乃久里神社の祭典と太神楽(8月第1土曜日) ・塩ノ沢熊野神社の祭典と獅子舞(9月中旬) ・川和諏訪神社の祭典と獅子舞(9月最終日曜日) ・乙母八幡神社の祭典と太神楽(9月最終日曜日) ・野栗沢諏訪神社の祭典と獅子舞(10月2日)					
【祭り・イベント等】 (R6.6.1現在) ・不二洞弥生祭り(3月最終日曜日・中止) ・十石市(5月4日・5日) ・中正寺火渡り(5月3日・中止) ・上野村サマーフェスティバル(7月最終日曜日) ・ふるさと祭り(10月最終日曜日)		【特産品・名物】 ・しいたけ ・イノブタ ・十石みそ ・プラム ・リンゴ ・菊 ・木工品 ・しいたけ焼酎「積陰徳」 ・トマトジュース ・ヤーコン焼酎「とんだこんだ」					
【国勢調査人口】		【人口及び有権者数】					
	区分	H22.10.1	H27.10.1	R2.10.1	区分	人口	有権者
人口	男	652	609	573	男	528	454
	女	654	621	555	女	511	426
	計	1,306	1,230	1,128	計	1,039	880
	世帯数	612	578	552	世帯数	542 世帯	
構成比	15歳未満	10.1 %	10.7 %	9.6 %	※ 人口及び世帯数は住民基本台帳(R6.1.1現在)に基づく数値である。 有権者はR6.6月登録日現在の選挙人名簿登録者数である。		
	15~64歳	47.5 %	44.2 %	44.5 %			
	65歳以上	42.3 %	45.0 %	45.9 %			

【令和5年度土地利用の状況】

農地	1.2 %	215 ha
宅地	0.2 %	42 ha
山林	14.8 %	2,690 ha
その他	83.8 %	15,238 ha

【産業別就業者数】 (R2国調)

区分	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数 (分類不能含)
就業者(人)	114	106	319	539
構成比(%)	21.2	19.7	59.2	100.0

【普通会計予算規模】 (単位:百万円)

年度	当初予算額	増減率
4	3,765	△ 10.9 %
5	3,522	△ 6.5 %
6	4,083	15.9 %

【議会議員】

条例定数 : 8 人	現員数 : 8 人	(R6.6.1現在)
------------	-----------	------------

【職員数】 (R6.4.1現在)

一般行政	教育	消防	公営企業等	合計
28 人	3 人	0 人	3 人	34 人

【令和5年度の主な施策・事業】 (単位:百万円)

太陽光発電設備導入事業	340
V2H・温水器等導入及び省エネ改修支援	16
脱炭素車両・機器等補助金	33
伝染病予防費	3
母子保健対策費	3
後継者定住及び少子化対策事業	8
先進地視察研修事業	12
語学指導等外国青年招致事業	8
プレミアム商品券補助金	5
農産物加工事業費	36

【令和6年度の主な施策・事業】 (単位:百万円)

タブレット端末導入費	3
NEDO事業(木質バイオマス関係)	173
温泉施設改修工事	12
庁舎等複合施設建設事業費	2
自治体情報システムの標準化・共通化	86
太陽光発電設備導入工事	584
健康増進対策費(住民健診等)	27
橋梁補修測量設計委託料・補修工事	84
防災行政無線デジタル化整備工事(R6、7)	155
木質バイオマス発電事業	55

【特色ある施策・事業等】

- ・村の山林を効果的に活用するため、林業振興、観光推進、新エネルギー活用対策、バイオマスの有効活用による村内循環型社会の構築を目指す。
- ・村営住宅の建設や、就業の場の確保により若年層の定住促進を図る。
- ・子どもや高齢者が安心して生活できるよう福祉の充実を図る。
- ・各区の自立自存する事業を奨励する。
- ・交流を促す交通環境を整備する。

【今後の主要課題及び目標等】

- ・令和4年度に脱炭素先行地域に選定されたことを受け村民に向けた再エネ利用と省エネ支援事業を進める。
- ・令和6年度から2か年で、防災行政無線のデジタル化による再整備を行う。
- ・村独自の自治体公式アプリの運用が開始、健康マイレージのほか、防災、観光など多面的な仕組みとして構築。
- ・デジタル化の一部として、議会におけるタブレット端末の利用を開始。
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種は、村独自の補助制度により個人負担を助成。

【組織機構】

